

## 先人たちの偉業と熱き志を未来へ継承

幕末維新期の「薩長土肥」のひとつ佐賀藩は、日本の近代化を常にリードしてきました。他藩に先駆けた近代化への挑戦を物語る「幕末佐賀藩近代化産業遺産」や、「佐賀の七賢人」と称される偉人たちが残した功績の数々を顕彰し、“佐賀の誇り”として次の世代へと確実に引き継いでいきます。

## 幕末佐賀藩近代化産業遺産

- ✓ 築地反射炉跡：日本初の実用反射炉
- ✓ 精煉方跡：西洋科学技術の研究機関
- ✓ 多布施反射炉跡：幕府発注大砲の量産施設
- ✓ 三重津海軍所跡※：幕末佐賀藩洋式海軍の拠点  
※世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産



## 佐賀の七賢人

- ✓ 鍋島直正：10代佐賀藩主、近代化事業を主導
- ✓ 島 義勇：北海道開拓使主席判官
- ✓ 佐野常民：日本赤十字社創設
- ✓ 副島種臣：外務卿、枢密院副議長、内相
- ✓ 大木喬任：東京府知事、民部卿、初代文部卿
- ✓ 江藤新平：初代司法卿
- ✓ 大隈重信：内閣総理大臣、早稲田大学創立



## 取組の一例

## 幕末佐賀藩近代化産業遺産の保存・活用

- 史跡三重津海軍所跡保存整備事業  
遺構を恒久的に保護しながら、来訪者の理解をより一層深めてもらうため、平面表示などの史跡整備を行い、隣接する歴史館との一体展示を充実させます。
- 築地反射炉跡、精煉方跡、多布施反射炉跡の保存と活用  
幕末期の貴重な資産群である築地反射炉跡、精煉方跡、多布施反射炉跡について、発掘調査をはじめとする考古学的調査を進め、保存・活用の検討に取り組みます。



## 佐賀の七賢人の顕彰

- 偉人ゆかりの地案内サイン整備事業  
市内に点在する偉人ゆかりの地に案内サインを設置して彼らの偉業や人となりを紹介するとともに、サインの更新、設置位置や板面の内容が手軽に確認できるシステムの構築に取り組みます。

